

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 01 都市づくりビジョンの策定

施 策 : 02 安全で快適に暮らせる住環境の整備

施策担当職・氏名	都市政策課長 佐藤 勝之
-----------------	--------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	建築物、木造住宅耐震診断、被災者支援など個々の建物に関する総合的な施策により、相対的に各地域や全市を安全で快適に暮らせる都市にすることを目的とします。
--	---

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 新規住宅着工数 単位 戸	288	250	250	280	300	300	-	
			308	250	0	-	-	0.0	
2	幸福 地域の居心地が良いと思っている人の割合 単位 %	62.9	63	64	66	68	70	-	
			61.9	62.8	0	-	-	0.0	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成28年度	平成29年度 (見込)	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	4年後
1	1107 市営住宅管理運営事業 市営住宅入居率 単位 %	目標値	100	100	100	100	100	100	100
		実績	100	0	-	-	-	-	-
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							

前期基本計画 平成30年度 施策方針書

政 策 : 04 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します

基本施策 : 01 都市づくりビジョンの策定

施 策 : 02 安全で快適に暮らせる住環境の整備

施策担当職・氏名 都市政策課長 佐藤 勝之

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

長期間で見ると、新規住宅着工数は減少傾向にあり、今後も減少となることを見込まれます。しかし、現在休止している牧野林地区の通称せいほくタウンの一部が開発されており、数年は減少に一定の歯止めがかかるものと予想されます。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

本市の新規住宅の着工数は、市街化区域内における宅地開発の程度と密接な関係があります。また、社会経済や職場など多くの要因が関係しており、特に、大震災の影響、少子化などの影響が、どの程度影響があるのかは、まだ、明確ではありません。

(3) 基本施策との関連性

安全で快適な個々の住居等の建築物は、良好なまちなみを通じて都市づくりに寄与するものと考えます。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

現在施行中の各実行計画の確実な施行が、全体的な目標達成に寄与するものと考えます。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

大震災被災者支援や木造住宅耐震対策のほか、空き家対策、市営住宅の維持など、既存施設の対応について課題と方針を考える必要性が生じてきました。

(3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

安心安全を最優先とした事業を展開します。

